

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：ふれすと綱島二階ほいくえん	種別：認可保育所	
代表者氏名：新藤 大貴	定員（利用人数）：50(59) 名	
所在地：〒222-0001 横浜市港北区樽町 2-3-1 2階		
TEL：045-834-8766	ホームページ： <a href="https://hoikuen.brest.co.jp/tsunashima-nikai/">https://hoikuen.brest.co.jp/tsunashima-nikai/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2021年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社プレストインターナショナル		
職員数	常勤職員：15 名 非常勤職員：4 名	
専門職員	（専門職の名称）：名	
	保育士：13名	看護師：1名
	栄養士：2名	調理師：1名
	英語講師：1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：0～1歳児保育室	設備：調理室
	居室：2～5歳児保育室	設備：職員室
		設備：ミーティングルーム
		設備：大人用トイレ
		設備：幼児用トイレ
		設備：医務スペース
		設備：休憩室
		設備：プール遊び場
		設備：砂場
	設備：ハンモックブランコ	
	設備：園庭	
	設備：合同大園庭(1階&2階)	

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

違いを認めて学び合う

## &lt;基本方針&gt;

- まなびがあそび、あそびがまなび
- 思いやりの心を育てる

## &lt;保育目標&gt;

1. あいさつがしっかりできる子
2. 自分の考えがしっかりもてる子
3. 自信を持って夢をもつ子

④施設・事業所の特徴的な取組

<ぶれすと綱島二階ほいくえんの特徴的な取組> (基本情報 I-3 の記載事項)  
 全園児：英語が学べる認可保育園として、外国人スタッフをはじめ、様々な人とコミュニケーションを取ることでグローバル保育を実践する。  
 乳 児：ふれあいやスキンシップを図り、基本的信頼感の基礎を養う。また、自然物や周りの物に、好奇心や関心が持てるようにする。  
 幼 児：身の回りの事、自立への意欲を大切にする。また、遊びの中で人との関わり、様々な経験の中で自己表現する力をつけ、豊かな心を育む。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年08月30日（契約日） ～ 2024年03月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【ぶれすと綱島二階ほいくえんの概要】

- ぶれすと綱島二階ほいくえんは、令和3年4月に株式会社プレストインターナショナル（以下、法人という）により、開設された認可保育所です。法人の経営する「ぶれすとほいくえん」は、グローバル感覚溢れる英語が学べる認可保育園として、横浜・川崎に認可保育園と小規模保育事業を展開しています。法人は、「英語を通して文化、言語、考え方の違いを認めて学び合い、世界に目を向けてほしい」という願いから、「世界で活躍できる子どもたちを育てる」ことを念頭に、英語教育に力を入れています。また、法人系列園ごとに知育玩具を採求し、4歳～5歳児を対象に就学を見据えて「小学校準備講座」としてカリキュラムを取り入れています。
- ぶれすと綱島二階ほいくえんは、東急東横線「綱島駅」、東急新横浜線「新綱島駅」より徒歩12分、樽町中央バス停より徒歩3分の閑静な住宅地の中に位置しています。同ビル1階には法人系列園の「ぶれすと綱島ほいくえん」があり、行事や普段の保育の中でも交流する環境が整えられています。周辺は公園や鶴見川河川敷があり、緑豊かな自然に恵まれ、子どもたちの散歩コースになっています。職員は、一人ひとりの子どもの発達、気持ちを受け止め、共感し、見守る姿勢を持ち、温かい保育を実践しています。そして、子どもたちに様々な体験を提供し、自信と行動意欲を育みながら丁寧に保育に当たっています。
- ぶれすと綱島二階ほいくえんの定員は50名、0歳～5歳児までの保育を実施し、現在59名の園児が在園しています。保育室は広いワンフロアに0歳～5歳児クラスがあり、各年齢の子どもたちの活動の様子が見える環境のため、日常的に異年齢児交流が育まれています。また、外国人スタッフが常駐し、子どもたちはネイティブな発音でのサークルタイムを楽しみ、言葉の違いや文化、様々な違いに触れることができます。職員は、保育理念「違いを認めて学び合う」を基に子どもたちと関わり、多くの体験ができるグローバル感覚の保育を提供しています。

◇特長や今後期待される点

1. 【個性に寄り添う保育】

ぶれすと綱島二階ほいくえん（以下、当園という）は、保育理念「違いを認めて学び合う」を基に、全職員で「子どもを尊重した保育実践」に取り組んでいます。年間の園内研修計画に「子どもの人権」を前期・後期に計画・実施し、人権の内容を踏まえた日頃の保育の見直しと共に、全職員「人権擁護のセルフチェック」を行い、子どもへの対応の共有化を図っています。当園は、ワンフロアに0歳～5歳児までのクラスがありますが、声のトーンが予想以上に静かで、とても落ち着いており、年齢に応じた活動を行っています。職員は、子どもの目線に合わせて会話し、子どもの訴えを頷きながら聞いている姿を目にしました。職員と子どもの触れ合いの中で、笑顔が溢れています。今回の利用者（保護者）アンケートにも「子どもの気持ちに寄り添っている」・「可愛がって接している」・「子どもが楽しそうに登園している」・「安心して預けられる」等の意見が多く寄せられ、保育への満足度の高さが窺えます。

## 2. 【異年齢児保育の取り組み】

当園では、日常的に各年齢児の様子が見渡せることから、異年齢児との関わりが多く見られます。中でも0歳児クラスが中央にあり、幼児が顔を覗かせ「かわいい」と手を振る姿があります。また、一緒に散歩に出かけることも多く、大きい子が小さい子をやさしくエスコートしていました。3歳～5歳児は、午前中は年齢別の活動を行い、午後からは合同でリズムや集団遊びを楽しんでいます。各年齢共に、子どもの主体性が発揮できるように、集団の中で発表の場を設け、楽しかった事や好きな遊びの紹介をしています。毎日の取り組みの成果もあり、一人ひとりの子どもが意気揚々と話す姿が見られます。異年齢児が関わって日々過ごしたり、一緒に遊んだりする等、職員間で話し合い、カリキュラムに位置付けています。当園は、年齢が近い若い職員が多いことから、活気があり、職員同士の声かけやサポート体制がスムーズに行われています。

## 3. 【多彩なサービスの提供】

「ぶれすとほいくえん」のオリジナルプログラム「英語、リズム遊び、まなび、知育、読み聞かせ、外遊び、体験型保育」等に加え、季節行事「遠足、夏祭り、運動会、クリスマス会」等を行っています。また、4歳～5歳児を対象に「小学校準備講座」として、法人の「学習塾BREST」教師による国語・算数の授業を取り入れています。さらに、課外に体育教師を招致して鉄棒、跳び箱、マット運動等の「体操教室」を実施しています。「てぶらdeほいくサービス」は、保護者のニーズに合わせた選択制ですが、当園では、年齢が小さい程、利用率が高く、保護者に好評です。幼児クラスになると、子どもの要求「この洋服がいい！」が顕著となり、通園では私服着用のため利用率が低下しているようです。また、保護者のコスト感覚や生活実態に応じて、利用率の推移を把握しています。

## 4. 【人材確保と定着】

経営上の課題に「保育士の人員確保と継続した定着」を挙げています。この課題は法人共通でもあり、他園でも保育運営上の課題と言えます。法人のホームページやブログ等で「ぶれすとほいくえん」をアピールすると共に、就職フェア等に園長が出向いて採用活動を行っています。当園は開設3年目で、若い職員が多く、中堅層の活躍が今後の課題とされます。人材確保・定着は、保育の質の向上につながりますので、魅力ある職場環境作り等、今後の取り組みに期待します。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 ぶれすと綱島二階ほいくえん

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

1. 今回が初めてとなる第三者評価で一連の流れが確認できて、どのように進めていけばいいのかが理解できた。
2. 職員のアンケートを集計して感じたが、質問の文章の意味が少し難しく、個々で認識がずれてしまうような項目がいくつかあった。
3. 保護者にもアンケートをお願いしたが、回答率もよく、普段中々聞けないような保護者の声も確認することができ、園運営をしていく上で参考になるものもあり、今後に生かしていきたいと思えた。
4. 職員や保護者（第三者）の考え方や捉え方を受け止める機会としてとても有意義で、今後の保育や保育園運営に関して職員へどのように伝えていくのか検討していきたい。

《評価後取組んだ事として》

1. 利用者アンケートに対して、改善できるものや意見に答えられるものに関しては、できる限りで対応する。
2. 職員間での園運営や地域等の取組についての共有と認識の統一。
3. 次年度の保育園運営や保護者へのお知らせの仕方等の変更等に関して検討。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり